

平成 30 年度第 2 回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 平成 30 年 11 月 1 日 午前 10 時 00 分～11 時 15 分

場 所 市役所 3 階 第 2 会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5 名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（7 名）

平野 勝弘（総務部長）

早川 晴美（契約監理課 課長）

種村 悟（ ” 課長補佐兼検査指導係長）

蒔田 宏之（ ” 課長補佐兼契約調達係長）

伊藤 美紀（ ” 契約調達係）

森 浩木（上下水道部 次長兼企画総務課 課長）

小林 修（ ” 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（8 名）

佐藤 良治（土木課 課長）

日比野 博一（防災・危機管理課 課長）

栗原 繁憲（上下水道部 工務課 課長）

西田 勝彦（ ” 主幹）

関塚 佳生（ ” 水道係長）

小林 代二（桑名駅西整備事務所 所長）

中村 誓章（ ” 工務係長）

伊藤 有一（ ” 工務係）

事 項

1 開 会

【事務局】

本日は、ご多用の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、「平成 30 年度第 2 回入札監視委員会」を開催させていただきます。

最初に、総務部長からご挨拶申し上げます。

【事務局】

おはようございます。総務部長の平野です。

日ごろは、市の行政運営にご尽力賜りまして、ありがとうございます。

また、本日、早朝よりご出席をいただきまして、ありがとうございます。

冒頭、少しだけ市の動向をお話をさせていただきたいと思います。

市議会議員選挙が、この 12 月 2 日にあるということで、新聞等に出ておりますが、今回、大変関心の高い選挙という形で、といたしますのは、今、市議会の定数が 26 ではありますが、

立候補の予定者、説明会に 41 人の方が出られて、まだそこに当日欠席の方もあるというところでもありますので、かなり全国的にも珍しいような状況で、かなり混戦の様相を呈しているところでございます。

総務部としては、選挙管理委員会を持っておりますので、今、対応に大変苦慮しているところです。選挙看板も当初の予定ではかなり足りないような状況ですし、何かと問い合わせも含めて、その翌年には県議選も国政もあるということで、そういった部分も含めて、かなり選挙の動向が、この桑名地域では高まってきているところです。

41 人の立候補予定のうち、現職は 19 人で、新人が 20 人、元職が 2 人という状況ですので、相当、市の行政運営にかかわる市議の方のメンバーも多く入れ替わる可能性が高いということで、12 月 2 日以降の選挙後に、市としての対応もかなり丁寧にいろいろ説明していかなければ、うまく回っていかないのではないかと、そういった危惧もしながら、今、取り組んでいる状況でございます。

冒頭、市の動向をお話をさせていただきましたが、本日は、入札監視委員会ということで、はじめに入札及び契約手続きの運用状況についてご説明をさせていただきますのと、あと、審議として 5 件ほど挙げさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議題につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第 5 条第 2 項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

今、総務部長様からお話をいただきましたが、選挙の様子も全然知りませんで、少しわかりました。

随分、様子が変わるかもしれないというお話でしたが、私が改めて言うことはありませんが、入札に関する工事の内容を、もしかすると中長期的には、段々新しいものを作るというよりは、今あるものの更新ですとかメンテナンス、そういう内容のものが増えてくるかもしれないと思っていますが。

いつも言っていますが、質と適正な価格をどういうふうにバランスを取って把握していくかというのは、常にやり方は社会情勢も結構急激に変わって変化するので、それに合わせて常に見直しをしていかなければいけないと思っております。

本日も皆様方のご協力で進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。ここからは、桑名市入札監視委員会条例第 5 条第 1 項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開となっておりますが、現在は傍聴を希望される方はいらっしゃらないようです。また、途中で傍聴される方がおみえになる可能性もありますので、その場合は、その時点で傍聴の可否についてお諮りさせていただきたいと思います。

それでは、早速、審議に入りたいと思います。議事の「1 入札及び契約手続きの運用状況」につきまして、事務局の方からご説明をお願いいたします。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【事務局】

契約監理課の蒔田です。着座にて説明させていただきます。

それでは、「(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」説明させていただきます。

資料の1ページ、2ページをご覧ください。①指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります平成30年4月から8月の4カ月間に指名停止を講じた件数は、8件となっております。8件全てが、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市でも同等の措置を講じたものでございます。

なお、1ページの左側2件につきましては、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準の改正に伴いまして、遡って指名停止期間を変更しております。一番下の欄に記入させていただいております。

次に、②の談合情報でございますが、対象期間において寄せられた情報はございませんでした。

説明は、以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

【委員長】

遡るということがあるんですね。説明していただければ。

【事務局】

条例の手続きの関係上、4月1日からということで、対象業者に対しては、利益になるものですので、遡ってということも可能ということでもあります。

【委員長】

それでは、特にほかにないようでしたら、次の議事に進みたいと思います。

次、議事の「(2) 提出事案の審議について」の項目に移ります。審議に先立ちまして、抽出案件5件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

それでは、関係者の方々の出席をお願いいたします。

〔関係職員の入室〕

【委員長】

それでは審議に当たりまして、今回の5件の抽出事案につきまして、伊藤委員から説明をお願いいたします。

【委員】

それでは、5件抽出いたしました内容についてご説明いたします。

本日最初が「大山田南小学校トイレ改修工事」、こちらは、理由書にも書いてございますが、落札率が高い、発注金額が高額である、それから、前々から言っている話ですが、6者が同

額であるというところで抽出いたしました。

2 件目の「星見ヶ丘防災拠点施設工事」については、発注金額が高額であるというところで抽出をいたしました。

3 件目、「鍛冶町配水管布設替工事」、こちらも落札率が高いこと、発注金額が高額であること、応札業者が少なかったというところでピックアップいたしました。

4 件目、「配水管設計業務委託」、これは応札者が非常に多いということ、そのうえ 17 者同額であるというところで抽出いたしました。

5 件目、これは随意契約のものです、落札率が高いということで選ばせていただきました。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

抽出事案 1 大山田南小学校トイレ改修工事

【委員長】

それでは、第 1 案件です。「大山田南小学校トイレ改修工事」につきまして、発注担当課様から工事概要を説明していただき、その後、事務局から発注公告の内容等入札経過についてのご説明をお願いいたします。

【担当課】

総務部財政課です。よろしくお願いします。着座にて失礼いたします。

工事概要についてご説明させていただきます。資料 4 ページをお願いいたします。

こちらの工事概要書に沿ってご説明させていただきます。

工事名「大山田南小学校トイレ改修工事」、予算額 5,299 万 200 円、設計額 4,811 万 7,240 円、工期につきましては、平成 30 年 6 月 19 日から平成 30 年 9 月 14 日までとなっております。

工事場所でございますが、5 ページの付近見取り図をお願いいたします。

工事場所につきましては、大山田南小学校(桑名市松ノ木六丁目 11 番地 1)でございます。

工事の目的といたしましては、老朽化した小学校トイレの改修を行い、快適な教育環境を整えることを目的としております。

工事概要につきまして、再度、4 ページをお願いいたします。

工事概要は、トイレの全面改修工事でございます。和式便器を洋式化にすること。従来の床掃除が水拭きであったものを床をから拭きにする乾式化、多目的トイレを既存の教材室を改修して追加する工事、屋外にスロープを 1 カ所設置する工事に伴う建築工事、電気設備工事及び機械設備工事でございます。

こちらからは以上です。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明させていただきます。資料の 6 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、建設工事業の許可業者であること。所在地要件は市内までとし、経審点数は 550 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること。同種工事施工実績は、平成 20 年度以降、官公庁が発注した案件で建築一式工事の施工実績を有すること。技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上

の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、7ページをご覧ください。

平成30年6月6日に入札を行いましたところ、7者から応札があり、改札の結果、7者全てが最低制限価格以上、予定価格以内で応札し、そのうちの6者が同額のため、くじにより株式会社伊藤工務店を落札候補者といたしました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き4,009万円で契約を締結いたしました。

説明は、以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

【委員】

小学校のトイレの改修ということで、これから工事もいくつか出てくるかと思い拝見したのですが、このたびの工事概要ですと、先ほどの説明にもありましたが、トイレの追加であるとか、倉庫の設置であるとか、あるいは変更等々、いろんな要素があるわけですが、この要素に対して、ほとんど皆さん同じというよりは、最低制限価格にぴったり張り付いたものが計算されるということが、どうして起こり得るのかなと。今までも同じような仕様に従って積算ソフトに入れると同じ額が出るということですが、抽選で決めているから談合ということではないと思いますが、各業者さんの工夫するような余地は、全く無いものなのか、そのあたりについてご意見をお聞きたいです。

【事務局】

事務局の蒔田です。

各業者さんの積算能力が高ければ、予定価格を公表しておりますことと、設計書も公表しておりますのと、計算式も公表しておりますので、ほぼ最低制限価格に近い額になっていると思います。その中の、いろいろ事件がありまして、今、予定価格を事前公表しているところですが、その予定価格の公表を事後にするなりというような検討をしていけば、それぞれ業者さんの積算能力によっては、金額の差が出てくるかとは思われます。

【委員】

ありがとうございました。

多分、ここで議論していても、きっと答えは出ないのであろうとは考えていますが、やはり提供された設計の情報であるとか、予定価格であるとか、そういったところから出された答えが全く一緒のものが出てくる状況というのは、本当の意味の業者さんの適正な競争と言えるのかなと思ったりします。

だからといって、今、こうゆう方法ならいいよという提案もできないわけなのですが、何か工夫できないものかと思っております。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

予定価格は事前に出しておくか、事後にするか、それぞれどっちの方法もメリット・デメリットがあるとは思いますが、そこを常時検討をして見直すときは見直すという形で進めたいと思います。

それでは、この案件につきましては、特に問題はないといたしますが、今、私から申し上げたように、常時方式につきましては検討していただいて、見直しが必要な際にはしていただくということでお願いしたいと思います。

抽出事案 2 星見ヶ丘防災拠点施設工事（造成工事②）

【委員長】

次、第2案件「星見ヶ丘防災拠点施設工事（造成工事②）」につきまして、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

都市整備部土木課の佐藤と申します。よろしくお願ひいたします。座って失礼いたします。

「星見ヶ丘防災拠点施設工事（造成工事②）」、8ページの工事概要書をご覧ください。

工事名につきましては、先ほど申しましたとおり、「星見ヶ丘防災拠点施設工事（造成工事②）」、予算額につきましては1億4,400万円、設計額が1億4,147万5,680円。工期につきましては、今年7月6日から31年2月26日までとしております。

工事概要につきましては、全般的に土木工事になりまして、主に法面工事並びに周辺への擁壁等々、あと、排水工事とそれに伴います付属工事という内容になっております。

続いて、場所につきましては9ページをご覧ください。

場所は星見ヶ丘の西側、旧の中学校を予定しておりました用地で、全体面積が約2ヘクタールになります。

今回、このその②工事につきましては、28年度から継続的にこの防災拠点施設を建設するために、周辺の市道の拡幅、並びに準備工を29年度で施工させていただき、今年が建設の事前の造成工事、主に土工の最終年度となっております。これが終わり次第、次年度以降、上物の建設工事を進める予定をしております。

私のほうからの説明は、以上とさせていただきます。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過について説明させていただきます。資料の12ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度対象案件でございます。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、特定の土木工事業の許可業者であること。所在地要件は市内までとし、経審点数は730点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。同種工事施工実績は、平成20年度以降、官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有すること。技術者要件として、現場代理人及び専任の監理技術者の配置を求め、ただし、低入札価格で契約を締結する場合は、これらのほかに監理技術者に求める資格を有する専任の担当技術者1名追加配置することとしております。以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、14ページをご覧ください。

平成30年6月20日に入札を行いましたところ、8者から応札があり、改札の結果、日本興業株式会社が調査基準価格未満の応札で、失格基準価格を上回っていたため、見積内訳書の判断基準の確認を行い、確認の結果、基準を満たしておりましたので、低入札価格調査の対象となり、保留といたしました。

後日、低入札価格調査及び意見聴取を実施し、調査の結果、契約内容に適合した施工が可能と判断したことから、落札候補者とし、その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き1億999万円で契約を締結いたしました。

説明は、以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見ございましたら、お願いいたします。

【委員長】

低入札価格調査制度の対象にするかどうかの基本的な考え方みたいなものがあれば。

【事務局】

事務局の蒔田です。

対象となる工事は、総合評価方式により競争入札に付す建設工事又は設計金額1億円以上の建設工事、設計金額1億円未満の工事でも、制度の適用が必要と認められるものについて、低入札価格調査をさせていただいております。

【委員】

基本的なことです。調査基準価格とか失格基準価格というのは非公表ですよ。

【事務局】

公表しております。

【委員】

最初から公表しているということですか。

【事務局】

価格は公表しておりません。計算式だけ公表しております。価格は公表しておりません。

【委員】

ですから、今回の場合は低入札価格の調査をしたということですから、先ほどご説明がありました公告の中の技術者要件の中のその他の部分で、低入札価格で契約をする場合は、上記技術者の中に、監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術担当者として、1名追加配置するというので、この工事については、その方が監理技術者が2人ついておるということですか。

【事務局】

はい、そういうことでございます。

【委員】

これも先ほど一緒に、この調査基準価格にぴったり張り付いているのが6者あるという状況で、その中で、この低入札価格の案件だったからこそ低く出るというのは、私は推測ができません。応札する業者さんからすると、これは冒険みたいなことなのではないでしょうか教えてください。

【事務局】

業者さんによりまして、得意分野、不得意分野というものもあると思いますので、一応、調査基準価格というのが、普段の最低制限価格と大体同額なんですけれども、業者によりましては、それでもいける得意分野があれば、ちょっと攻めて低入札の基準失格以下になるまでとしますし、ただし、後々、施工が可能かどうかという調査もさせていただきますし、技術者を1人追加配置するということは、業者にとりましてはかなり負担になってくると思いますので、それも見据えてできるのであればという形になってきます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

失格基準価格より当然上ですので、失格にはならない。だけど、調査基準価格というか、もともとの予定価格をかなり下回った形で入札した場合に、契約内容に適合した履行が可能と判断する。こうした判断のまろもろの要素というのは、これだけのことがやれるということなら、はなからもっと下げた形でもいいのではないかという気もしないことはないのですが、そこは業者さんが競争力を発揮するための伸びしろといいますか、余裕といいますか、

そういうことだと思うんですが、そういう理解でよろしいのでしょうか。

【事務局】

率を公表していますので、それ以下でもできるというところで、業者さんの努力が頑張ればできるという形です。業者として、この制度がいい悪いというのものもある、この程度でやってもいい悪いというのもの、業者によって違うところがございます、積極的にこういう制度を導入してほしいという業者もあれば、これだと低いところ、今、労務単価が上がってきたり、いろいろ資材が上がってきていますので、あまりすると、建設業界の中でちょっと今の流れと違うのではないかという方もみえますので、ただ、業者の能力、努力も反映できると思いますので、この制度を実施していきたいと思っています。

【委員長】

この事後審査の具体的なイメージはどんな感じですか。

【事務局】

落札候補というか、調査基準対象になりましたら保留をさせていただきまして、そこで各種いろんな書類を提出していただきます。今の例えば、この価格で入札した理由とか、その入札価格の算定に係るもっと詳細な見積書を見てみたり、あとは手持ち工事の状況とか、資材購入先との関係、手持ち機械等の状況とかもろもろを調査させていただきまして、それでうちのほうで聴き取りを行いまして、そこで判断をさせていただいております。

【委員長】

ほかにごいませんか。

それでは、この案件につきましては、特に問題はないとさせていただきたいと思います。

抽出事案 3 鍛冶町配水管布設替工事

【委員長】

それでは、第3案件です。「鍛冶町配水管布設替工事」につきまして、発注担当課から工事概要を説明していただき、その後、事務局から発注公告の内容等についてのご説明をお願いします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。座ってご説明をさせていただきます。

工事の概要をご説明申し上げます。お手元の資料の15ページをご覧ください。

工事名は「鍛冶町配水管布設替工事」、工事場所は、桑名市鍛冶町地内ほか、設計金額は、7,516万8,000円、工事期間は、平成30年8月6日から平成31年2月28日までとなっております。

本工事は、昭和33年に布設され、60年が経過した水道管において、近年、漏水による修繕が多発しておりましたことから、平成28年3月に策定しました「第1次配水管網更新計画」に基づき更新を行うものでございます。

施工内容につきましては、配水管布設工としまして、口径150ミリから50ミリの耐震性を有する配水用ポリエチレン管1,070.6メートル、既設管との接続に使用します口径50ミリの耐衝撃硬質ポリ塩化ビニール管3.4メートルの合計1,074メートルと、消火栓5基を開削工法により入れ替える工事となります。

説明は、以上となります。よろしくお願いいたします。

【事務局】

事務局の上下水道部企画総務課の小林です。

発注公告と入札形態について説明をします。資料は26ページの発注公告をご覧ください。

入札は、事後審査型条件付一般競争入札で執行しました。入札参加資格要件については、土木工事業の特定建設業の許可業者であること。所在地要件は市内業者で、経審点数が 730 点以上。発注業者の完成工事高が予定価格の 2 分の 1 以上であること。同種工事施工実績として、平成 15 年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有することを求めています。技術者要件としては、現場代理人と建設業法第 26 条に定める監理技術者の専任配置。その他技術者として配水用ポリエチレンパイプシステム協会正会員メーカーの配管技能講習会修了証取得者等のいずれかの配置を求め、その他要件として、桑名市指定給水装置工事事業者であることとしています。以上の要件をもって公告をいたしました。

続いて、入札経過及び結果について説明いたします。資料は次ページ、27 ページをご覧ください。

平成 30 年 7 月 24 日に入札を行いましたところ、2 者から応札があり、開札の結果、2 者とも最低制限価格と同額の応札となりましたので、電子くじにより株式会社伊藤水道建設を落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定し、税抜き 6,264 万円で契約締結をいたしました。

発注公告と入札経過の説明は、以上です。ご審議のほど、よろしくお願いします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いします。

【委員】

この件に関しましては、入札業者が非常に少なく、2 者しかなかったのですが、予定される土木工事業、特定土木工事業、対市内業者で経審点数 730 点以上、何者ぐらい該当しそうな対象でしょうか。

【担当課】

一応、発注時は 7 者程度を想定して発注を行っております。

【委員】

ありがとうございました。

この差というのは、何か考えられる原因はあるのでしょうか。

【担当課】

水道工事におきましては、今回、7,500 万円ということで、高額な発注案件になります。

発注条件としては、他の工事と変わりはありませんが、本市の発注基準に基づく 7,000 万円以上の工事の発注につきましては、「特定建設業許可」というものが必要となりますことと、専属で 1 名の監理技術者を配置しなければならないということが要件付けられておりますことから、技術者が少ない業者さんは避けられる傾向にあったのかなと感じております。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほか何か。

【委員】

配管工事はまだまだたくさん出てくるのかなという気がしますけど、そういう場合に市内業者だけにするのか、少し広げるのかというようなことを考慮する判断基準みたいなものは、どんなことを考えておられますか。

【担当課】

原則は、市の発注基準に基づいて金額に応じて市内、準市内、県内という形に沿った発注を行ってまいりたいと考えておりますが、私どもとしては、やはり緊急時、災害時等の対応も含めて、市内業者さんの活用を重点的に行っていきたいと考えております。

【委員】

そのあたり、上手に市内業者さんを使うのはいいと思うんですが、配管工事自体の年度計画というか、そういうものの中で考えられているというのでいいですか。災害のときは一気に仕事が出てくるかもしれないですが、それ以外のときは、大体、計画的にできてくるのか。でも、大体、この老朽化というのは、同時期に同じように老朽化して、取り替えないといけないようなものも出てくるとは思いますけど、そのあたりも考えないと。

【担当課】

そのあたりも、先ほどご説明させていただきましたように、平成 28 年に配水管の更新計画というものを策定しまして、それに基づきまして、漏水が多い箇所であったり、今、国のほうから指導されております避難場所、もしくは病院とか重要給水拠点を優先的に更新しなさい、耐震化しなさいという指導をいただいておりますので、それに基づきまして計画を立ててやっておるとい状況でございます。

【委員】

多分、桑名市の水道の更新をこれから相当たくさんやらなければいけないだろうと思っています。

その中で、これはどの業種もそうなのかもしれませんが、いわゆるこういった大手ではなく、中小の業者さんになられるということが多いとは思いますが、高齢化とか、水道工事の現場工事のようなお仕事だと、なかなか技術者として若い人たちが入ってきていないというような話も聞き及んだりしております。

とすると、桑名市としては、更新計画は作ってやろうとしても、このように応札が技術者の問題で少ないとかなってくると、思うように工事もできないということになりかねなくなってくるのではないかなと、勝手に一人で懸念しているのですが。

業者さんに対するとおっしゃるかもしれませんが、そういったポイントの業務もそうかもしれませんが、いわゆる若い人たちがいろんな重要な仕事に来てもらえるような政策的なことはできないのかな。これは入札監視委員会の話とは別かもしれませんが、そういう感想を持ちました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては、特に問題ないいたします。

抽出事案 4 配水管設計業務委託（三栄町地区ほか）

【委員長】

では、第 4 案件です。「配水管設計業務委託」につきまして、発注担当課から委託概要について説明をいただいた後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

引き続きまして工務課でございます。

業務の内容についてご説明を申し上げます。お手元の資料の 28 ページをご覧ください。

委託業務名は、「配水管設計業務委託（三栄町地区ほか）」、履行場所は、桑名市三栄町地内ほか。設計金額は、889 万 7,040 円となります。履行期間は平成 30 年 6 月 4 日より平成 30 年 8 月 31 日までとなっております。

本業務は、先の工事と同様に、第 1 次配水管網更新計画に基づき、漏水多発路線及び病院、避難所等の重要給水施設へ向けた水道管路の更新、耐震化を図る工事のため、配水管布設替

詳細設計業務を、市内4カ所分委託するものでございます。4カ所は、資料29ページからの位置図にありますように、三栄町、中央町、桑部、五反田となります。

業務の詳細につきましては、現地調査を行い、平面図、断面図、配管図等の図面を作成し、工事発注に必要となります設計書の材料、手間などの数量を算出していただくものでございます。

概要は、以上でございます。

【事務局】

続いて、事務局の上下水道部企画総務課から、発注公告と入札経過についてご説明いたします。資料は34ページの発注公告をご覧ください。

入札は事後審査型条件付一般競争入札で執行しました。入札参加資格要件の登録内容、所在地要件については、上水道及び工業用水道の建設コンサルタント登録業者で、県内業者としています。技術者要件では、管理技術者に技術士、照査技術者には技術士、技術管理者、又はRCCMのいずれかの資格を有する者の配置を求めています。同種業務履行実績は、平成20年度以降の官公庁発注案件で、上水道配水管設計業務の実績を有することとしています。なお、これらの資格要件は、発注基準のとおりとなっています。以上の要件をもって公告をいたしました。

続いて、入札経過及び結果について説明いたします。資料は翌ページ、35ページをご覧ください。

平成30年5月22日に入札を行いましたところ、17者から応札があり、開札の結果、17者とも最低制限価格と同額の応札となりましたので、電子くじにより中部水工設計株式会社三重事務所を落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定し、税抜き665万円で契約締結をいたしました。

発注公告と入札経過は以上です。ご審議のほど、お願いします。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【委員】

こちらは17者という多くがあつて、あと、最低制限価格に並ぶということで、ほかの設計業務と比べ、私の勝手な思いですが、簡単で楽といったら怒られますが、おいしい仕事というのはあると、そういう印象がこの業務に関してはあるのかということをお聞きしたいです。

【担当課】

工務課でございます。

配水管の設計につきましては、厚生労働省の歩掛かりに沿った設計を行っておりまして、それを基本に管の口径であつたり、延長、難易度、また、仮設配管のありなしとか、そういう諸条件によって補正をかけさせていただいて設計を組んでおりますことから、比較的、それに基づいて積算していただければ、比較的どこの業者さんでも同じ金額が出せるのかなというところでございます。

また、17者という入札については、実際、該当する業者というのが県内には80者ございますことから、決して多い数字ではございませんで、この後、6月5日にも同様の設計業務を発注しておりますが、その際には27者応札があつたところから、今回の工事につきましては、比較的高額な設計業務の発注ということで、やはり県内でも大手のコンサル業者さんの参加があつたのかと感じております。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委員長】

私、全然知らないもので、とんちんかんな質問のおそれが。

建設に関する、コンサルタントの業種の会社というのは、実際、工事をやるとことは同じところでやっているような会社もあるのでしょうか。それとも全く別、そういうのはあり得ない。

【担当課】

設計は設計、コンサルタント業者さんは全く別です。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては、問題なしとしたいと思います。

抽出事案 5 事業計画変更検討業務委託

【委員長】

最後の案件、第5案件、「事業計画変更検討業務委託」につきまして、発注担当課から委託概要の説明をしていただいた後、事務局から入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

都市整備部桑名駅西整備事務所の小林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは失礼して着座にてご説明させていただきます。

審議案件5の委託概要書37ページをご覧ください。

委託業務名は、「事業計画変更検討業務委託」、予算額、設計額、履行期間につきましては、記載のとおりでございます。

業務の目的についてでございますが、38ページをお開きください。

当事務所の事業でございます「桑名駅西土地区画整理事業」の平面図で、委託箇所は全域となり、面積約27ヘクタールでございます。

この区画整理事業によりまして、土地を再配置しながら、桑名駅西周辺のアクセス道路の整備や下水道整備などを実施して、住環境の改善を進めております。

一方、本市におきまして、主要駅である桑名駅は、交通結節点として、また、市の玄関口として利便とにぎわいのある駅周辺整備を実現していくため、民間開発の誘導、土地の高度利用化などの構想を描いております。

そして、区画整理事業におきまして、駅西口には駅前広場と、それに隣接して公園を計画しております。図面の右下に桑名駅と書いてあるところの上あたりに、「桑名駅西広場」と書いてございますが、その図面でいきますと、左隣のロットが6号公園と呼んでおります。この土地区画整理事業地区内には、全部で7カ所の1号公園から7号公園までの公園が整備される計画となっております。

37ページにお戻りください。

この後、この6号公園を含めて、駅西口の有効利用の検討がなされていくことを受けまして、本業務委託につきましては、当該公園に代わる代替地の選定や、公園の変更に伴う土地区画整理事業への影響などを検証、把握することを主な目的とした業務でございます。

業務内容につきましては、換地の業務といたしまして、①から④の4つの項目がございますが、これが先ほど申し上げました6号公園の宅地化についての作業になってまいります。これと併せて、事業計画・実施計画業務、この5つの項目につきましては、土地区画整理事

業の進捗に伴いまして発生してまいりました変更部分、これまでの事業費の精査ですとか資金計画の検証、見直しを行う作業を進めるもので、これにより事業計画に変更認可申請、これは三重県知事の認可となりますが、これに備えていくものでございます。

委託概要のご説明は、以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局から見積もり経過及び結果を説明させていただきます。42 ページをご覧ください。

平成 30 年 8 月 1 日に見積もり合わせを行い、指名業者の玉野総合コンサルタント株式会社三重事務所から見積もりを徴しましたところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜きの 450 万円で契約を締結いたしました。

説明は、以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございます。

それではただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

こちらの 37 ページの委託概要書では、予算額が 1,220 万円で設計額は 495 万円、この差はどういうところからきているのか教えてください。

【担当課】

予算額につきましては、事業計画の変更を本格的に行うという形で予算を上げさせていただいておりますが、その予算額の中から、今回、検討部分の業務だけを引き出して発注しておりますので、このような金額になっております。

【委員】

ということは、またこの後、これに関連して、変更に関するところの業務についてもまた出てくるという可能性があるということですか。

【担当課】

今回の検討の結果を経て、実際、事業計画の変更の法的な手続きをしていくかというところを判断してまいりますので、今年度、発注になるかどうかというのは、今のところ不明でございます。

【委員】

ありがとうございます。

【委員】

今回のこの事業につきましては、当初から随契で、一般競争入札は予定していなかったということですか。

【担当課】

土地区画整理事業の中で、当然、建物の補償算定、調査の作業ですとか、実際に現地の道路を造ったり宅地を造ったりする工事に当たっての設計委託ですとか、さまざまな業務委託がございます。全てが随契であるというわけではなく、競争に付せるものは一般競争入札にかけていますし、ただ、今回のこの業務に関しましては、認可当時の換地ですとか、設計に携わっているところ、特に個人の権利の部分で非常に機密情報を取り扱っております。そういったものの蓄積があって、さまざまな経緯を把握しているこの請負業者へ今回随契をさせていただいた形です。

【委員】

今おっしゃったのは、そうした機微にわたる部分を業者に任せるというのではなくて、行政側で遂行できない業務なんでしょうか。例えば、現在の公共用地から宅地変更する検討するのは、行政の側でこういう必要があるからということでおそらく検討されるんだと思う

んですが、その中である程度の結論まで行政側で出すことはできないから、コンサルにかけるといことですか。

【担当課】

おっしゃるとおりでございます。

換地の設計作業にかかってまいりますので、各地権者さん、細かな権利の価格の算出ですとか、評価の算出の部分から、ある程度、計算をして積み上げてきているものがございしますので、当然、市のほうにも個人さんのそういった情報は同じ情報がありますが、それをコンサルタント会社の専門的な知識とノウハウ、及びシステムがございしますので、そのシステムの中で計算を回すことによって作業が非常に円滑又は実現できるというところで、そこを手作業で職員がやると膨大な時間がかかることになってまいります。

【委員】

以前にもこの都市計画の関係で申し上げたことがあったかわかりませんが、一つの事業を取ってしまったら、その後の事業は付随して全部随契で取っていくような形に、どうしても専門性が高いからそうなるんだと思うんですが。都市計画事業そのもののイニシャチブを桑名市がしているのか、コンサルの言われるまま踊っているのかどちらやというような疑問というか、思いが多少なりともするんですね。ですから、いわゆるポリシーというのがあるかわかりませんが、骨格部分は行政のほうできちっと示して、コンサルがこうだあだという部分は、細かな部分はともかくと思うんですが、重要な部分まで全てコンサルが言ってくる、専門知識を持った人が言ってくる。そうしたら、市の都市計画担当課というのは何なのという話になってしまわないのですかという気がするのですが。

【担当課】

おっしゃったとおり、骨格部分の判断をしていく部分に関しては、当然、市のほうでやってまいります。先ほどから申し上げているとおり、個人の権利の情報を取り扱う中で、やはり間違いがあつてはいけないという部分があります。

また、同じところに随契がいかがかというお話に関しましても、以前、他者のコンサルタント会社にも聞きましたが、もし御社のほうでこれを引き継いでやっていくとなると、どうかなというところで、やはり各コンサルタント会社ごとにシステムが違います。別々に枠で構築しているシステムがあつて、その中で情報を扱っているところがありますので、例えば、別の請負業者が請け負ったときに、その情報を全てそちらにコンバートするときに間違いが発生したりする部分が非常に怖いと。特に個人さんの権利に係る部分の数字を取り扱っていることがありますので、こちら随契をずっと続けていくかどうかというのは、以前からも問題視をしておりましたし、市全体の考え方としては、やはり競争性を持たせたほうがいいだろうということで、随意契約につきましては、なるべく控えていこうという姿勢もございしますので、今後、こういった業務につきましても、ある一定の期間は同じ業者さんでやっていただかないと支障が出るかもしれないですが、例えば債務負担を組むなどして、一度、競争で入札をして、その業者さんである程度システム、情報の入れ替えですとか、間違いはないかチェックをしてという時間を持たせることによって、他の業者でも作業ができるのではないかとこの部分がありますので、併せて今後検討をしていきたいとは考えております。

【委員】

直接関係ないのかもしれませんが、桑名駅の西口の区画整理事業というのは、相当長い期間かかっていると思うんですが、現在だといつごろ終了する予定みたいな計画をお持ちなのでしょうか。多分、その頃まではまたこういった工事というのは随時出てくることになりませんか。

【担当課】

おっしゃるとり、この事業は、実に昭和 47 年に都市計画決定がなされております。

その後、非常に長い期間を費やして事業化に至りまして、実際、事業の認可を受けたのが平成13年、2001年でございます。

その後、今の段階では、今ご指摘のと通りの現地の進捗状況でございますが、今の事業認可期間が平成36年度までになっています。

しかしながら、地元にもご説明を過去にさせていただいておりますが、その後も10年延伸する予定でございます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

予定価格はどういうふうに設定されるのか、なかなかよくわかりにくいのですが、どのような考え方で予定価格は決められているのですか。

【担当課】

予定価格につきましては、歩掛かりによりまして設計価格をはじきまして、その税抜き価格になっております。

【委員】

専門的な用語なのかよく理解できなかったのですが。範囲の広さとか、いろんな作業量的にどのぐらいだとか、これまでの経年的な予算の相場みたいなものがあるんでしょうが、このあたりはずっと・・・

【担当課】

設計額を算出するとき、積算をします。その積算を設計基準、積算歩掛かりというのがございますので、この歩掛かりに基づいて各作業の単価をはじいて、それを積み上げて設計額にしておりますので、職員が設計を組んで価格を決めております。

【委員】

大体このぐらいの規模でやるということだと、このぐらいが妥当な額になるのでしょうか。

【担当課】

実際、歩掛かりで当初発注といいますか、初めて発注するとすると、もう少し金額が高いです。

ただ、今回随意契約で過去に作業を行った業者へ発注するということで、そのあたりは設計のときに加味をいたしまして、少し金額を下げていく形になります。

【委員長】

今、お話を聞きしていると、こういうタイプの契約の場合は、鶏と卵で、随意契約だと今おっしゃったように安値でできるという、順番があるんですね。どう言ったらいいですかね。新しいところに発注すると、個人情報の取扱いとかにも経費がかかるんでしょうし、そこら辺の兼ね合いがあるように私は認識しましたが。

ほかにはいかがですか。

それでは、この案件につきましては、特に問題なしといたしますが、こういう非常に長期にわたるものについて、なおかつ、個人情報を取り扱うという特徴があって、なかなか考え方が難しいのですが。個人情報ということを重視するあまり、ずっと随意契約でいくのもどうかと思いますし、かといって、おっしゃるとおり、情報が必要のない人に漏れたりとか、計算違いとか、そういうことがあるのもあれなので、こういう長期的な事業については、契約の考え方も長期的な視点に立って、ある程度のところで、さっきもお話が出たかと思うんですが、見直しを、ずっと随意契約でいくのかとか、そういう形で長期的にそこら辺を考えていくことが大事だと思っております。

それでは、以上をもちまして、抽出事案の審議を終了いたしますので、発注担当課様は、ここで退席していただきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

〔関係職員の退室〕

【委員長】

それでは、次回の審議案件の抽出は、順番で赤木先生にお願いしたいと思います。

次に、（３）その他ですが、事務局のほうから何かございますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

それでは、平成３０年度第２回の桑名市入札監視委員会は終了させていただきます。

また、本日の審議概要につきましては、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。

本日は、お忙しいところ、ありがとうございました。